

「小川内」便り 第44号 平成28年11月

特定非営利活動法人 小川内プロジェクト（理事長 安福孝昭）

連絡所 〒731-1171 広島市安佐北区安佐町小川内4579-3

安佐小川内集会所



TEL&FAX 082-835-0831

ホームページURL <http://ogauchi.web.fc2.com/>

今年の秋はカープのリーグ優勝、日ハムとの日本一をかけた試合で広島は大いに賑わい、この経済効果は県全体で340億円と報じられています。

カープ球団を始め、百貨店や飲食業、市内の公共交通機関などでは直接収益増大、雇用面などで潤ったの でしょう。これが回り回って、我が小川内にその効果が届くのでしょうか。とも角、感動と喜びを与えてくれました。来年こそ日本一を祈っています。

目次

第5回「田舎暮らし体験塾」柿もぎと吊るし柿の作り方体験	・・・ P1～2
分科会活動	・・・ P2
今後の予定	・・・ P3
小川内情報	・・・ P3
・昭和劇団・奉納芝居	・・・ P3
・養山八幡神社秋季大祭「吹囃子行事」	・・・ P3
・熊が民家近くまで出没	・・・ P4
・世帯数、人口の推移と年代別人口	・・・ P4
編集後記	・・・ P4

第5回「田舎暮らし体験塾」

柿もぎと吊るし柿の作り方体験

10月22日、柿もぎと吊るし柿の作り方体験に塾生17名が参加し、スタッフと交流を深めた。柿の木を提供いただいた楓原（山崎壽邦様、山県慶猛様、渡辺興雄様、生田忠男様）（堂原河内）道原巖様（大仏溝）中田睦裕様の各氏に厚く御礼申し上げます。



高いところは竿を使ってもぐ



吊るし柿に削る（加工）



吊るし柿に加工体験後、歓喜する塾生とスタッフ（右）

分科会活動

活動拠点（小田邸）整備チーム

ゴミ出し、後片付け、床下補強、フローリング等の作業が、黒田さんの一級建築士としての知識や技能と熱意で年内には大方の改修工事が終わる予定。塾生の会議や休憩、食事等気軽に集まり、活動拠点として利用します。空き家が見事に蘇りました。

環境・景観チーム

旧小学校南側下の休耕田の草刈を行い、景観と今後の活用方法を考えます。

特産品開発チーム

小河内の農産物を加工した商品開発やエゴマを栽培、加工の研究をしています。



さやから大豆を取り出す



えごま

田舎暮らし体験塾の今後の予定

回	日時	カリキュラム	備考
第6回	12月3日(土)	漬物づくり(白菜、ダイコン荒漬)	
第7回	12月17日(土)	漬物づくり(白菜、ダイコン本漬) ミニ門松としめ縄づくり	子供会も参加、交流会
第8回	1月21日(土)	味噌と豆腐づくり	
第9回	2月18日(土)	ワークショップ	
第10回	3月4日(土)	振り返り、閉講式	

小河内情報

小河内最大の行事の養山八幡神社秋季大祭の「吹囃子行事」と、前夜祭に「昭和劇団」の田舎芝居が奉納され、多くの人で賑わいました。

・昭和劇団・奉納芝居（11月5日）



田舎芝居「昭和劇団」昭和3年結成、80余年の歴史がある、村人が演じる

・養山八幡神社秋季大祭「吹囃子行事」(11月6日)



200余年の歴史ある「吹囃子行事」(広島市重要無形文化財)

・熊が民家近くまで出没

小河内地区では熊対策として12年前から都市住民が参加して柿もぎが行われていますが、残った柿やもぎきれない柿が熊の餌になり、最近では民家近くまで出没しています。



民家近くの柿の木に熊が

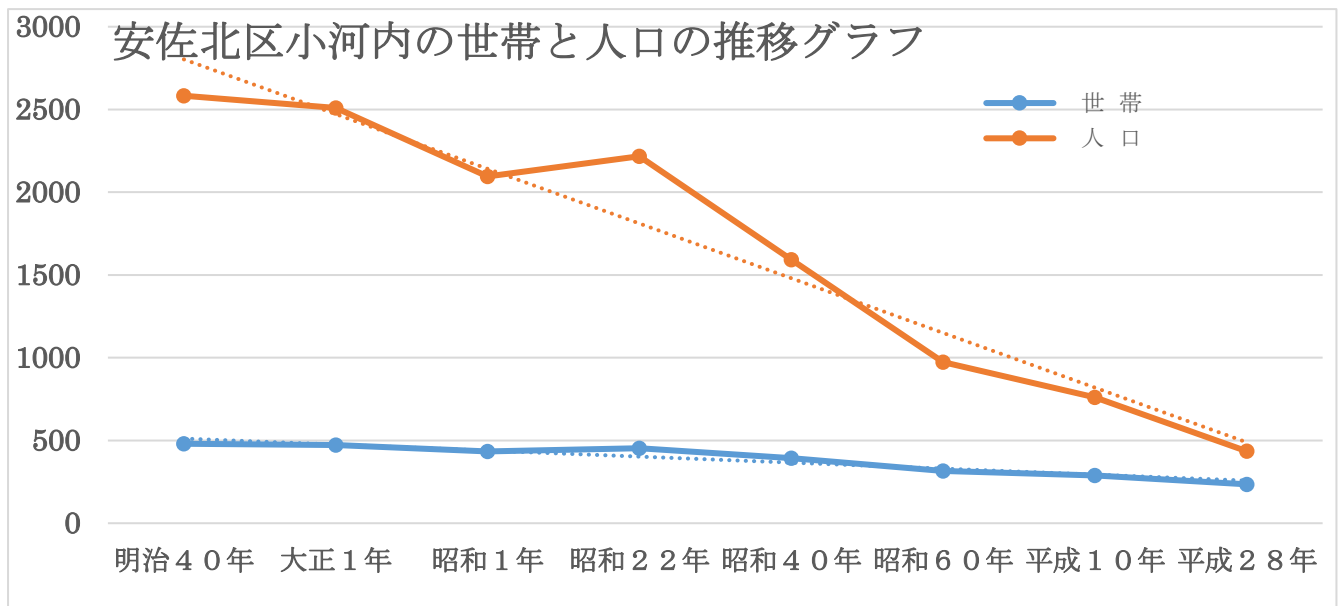


よじ登った熊の爪あと

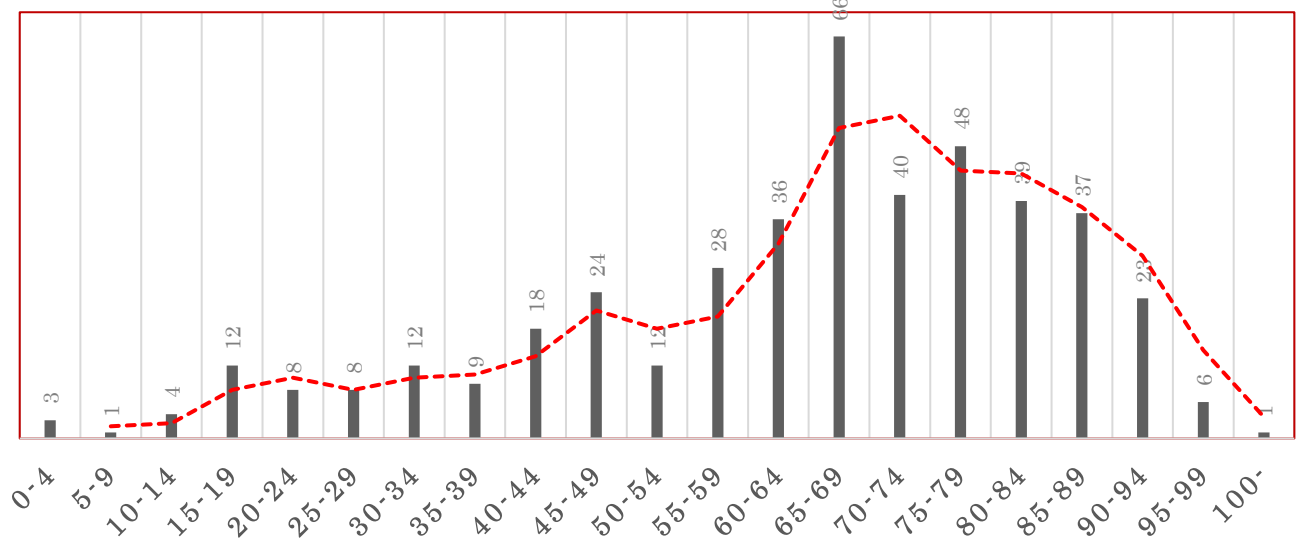


大人の腕大の木をポキリと

・世帯数、人口の推移、年代別人口



小河内地区年代別人口（平成28年9月30日）現在



編集後記

10数年前、帰郷したばかりのころ、小河内に永年住んでいるある高齢者から「小河内と云うところにや—何にもないところよ、よう帰ってきんさったの—」と皮肉とも自嘲ともとれることを聞いたことがある。多分その人は大きなビルが立ち並び多くの人で賑う都会に比べてのことを思われたのだろう。以来このことが頭をよぎる。多くの若者は学び、働き、遊び、情報が飛び交う活気ある都会に憧れ、田舎を離れていく、この蓄積が今日の東京一極集中、地方や中山間地の人口減少、高齢化（上記グラフ）、過疎化を招いた。便利な都会に暮らすことに幸せを感じている人がいる反面、時間や合理性、競争を追求する都会生活に息苦しさを感、地方に移住する都市住民が増えている。モノには見方により良い面、悪い面、両面がある。田舎には一見「何もない」ように思えるが、良く考えると人が生きていく「全てがある」。「田舎暮らし体験塾」で、表面的な田舎の不便さだけでなく、良い面もしっかり見て欲しい。(S)